

【図画工作】

＜勉強すること＞

◆ふき上がる風にのせて（教科書3・4年上20～21ページ）

ふくろに空気を入れて遊んでみよう。うき上がったたり落ちてきたりする様子から、思いついた形をつくろう。

- (1) ポリぶくろに空気を入れてあそんでみよう。どんな動き方をするかな。うちわなどであおいだり、糸をつけて動かしたりしてもいいですね。
- (2) 思いついた形をあらわしてみよう。ふわふわうかんだり、とんだりするものには、どんなものがあるかな。セロテープでとめたり、むすんだり、ふくろをつなげたりして形をかえよう。
- (3) かざりつけをしてみよう。テープをつけたり、ペンでかいたりしてもいいですね。
- (4) ふくろをうかばせて、あそぼう。どんな動きをするかな。お家の人にも見てもらおう。

※まわりによく気をつけて活動しましょう。

※もっとふくろをつかってあらわしたいときは、「カラフルフレンド」（教科書3・4年上p10～）にちょうせんしよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、袋を風に乗せる動きから、想像をふくらませて自由な表現を楽しむことを大切にしています。
- ・ポリ袋、セロテープの他に、輪ゴム、テープ、ペン（油性か耐水性）、うちわや送風機などがあると楽しく活動できます。ふくろも色々な大きさのものがあるとさらに活動の幅が広がります。
- ・袋を空中にうかべるときに、夢中になって周りの物に目が向かなくなることも考えられます。活動する場所にご配慮ください。

参考

※教科書3・4年上p10～11ページの「カラフルフレンド」も袋を使った表現活動になります。さらに袋を使った表現活動をしてみたい場合は、参考にしてください。

